

# 「グローバル人材の育成に向けた提言」概要

2011年6月14日（社）日本経済団体連合会

## はじめに：グローバル人材の求められる背景

### 日本内外の状況

- ・急速な少子高齢化と人口減少社会の到来
- ・国際競争の激化

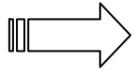
### グローバル人材育成

日本の「人材力」を強化し、技術力、イノベーション力を高めて、成長するアジア市場や新興国市場の需要を取り込んでいく必要性

- 産業界の求める人材と、大学教育の内容の乖離を解消する必要性
- 経団連としても、「サンライズ・レポート」に盛り込んだ3つの教育・人材開発プロジェクトを推進

## 1. 高まるグローバル人材への期待

- 事業活動のグローバル化に伴う人事戦略として、国籍にかかわらず優秀な人材を採用・活用する動き
- 産業界がグローバル人材に求める素質、能力



社会人としての基礎的能力に加え、既成概念に捉われず、チャレンジ精神を持ち続ける姿勢、外国語によるコミュニケーション能力、海外との文化、価値観の差異に対する興味・関心などが重要

## 2. グローバル人材育成に向けて、産学官に求められる取り組み

産学官の役割を明確にし相互に連携する

### (1) 産業界と大学の連携による取り組み

- ① **キャリア・職業教育の推進** → 大学及び初等中等教育を対象に、企業が出前授業等を通じてキャリア・職業教育を実施
- ② **科学技術立国日本への理解に向けた理工系教育** → 「理科離れ対策を中心とする企業の教育支援プロジェクト」の実施
- ③ **大学レベルでの社会ニーズを踏まえた実践的教育の強化** → 国際化の拠点として政府により採択された「13大学」と連携、モデル・カリキュラム（「グローバル人材育成プログラム」）の検討・実施
- ④ **大学生の海外留学の奨励** → 「13大学」と協力して「経団連グローバル人材育成スカラーシップ」の設置、留学帰国生を対象とした合同就職説明会・面接会開催への協力
- ⑤ **大学生のボランティア活動等の奨励** → 長期間、ボランティア活動に参加する学生への配慮。“Gap Year”（注1）導入の検討

### (2) 企業各社に求められる取り組み

- ① **本社の日本人社員のグローバル化対応力の養成**
  - －入社後、早い時期に海外経験を積む機会を提供
  - －新卒採用、昇進・昇格、海外駐在派遣の要件として一定レベル以上の外国語能力を要求等
- ② **外国人人材の採用と育成**
  - －優秀な留学生を人物本位・国籍不問で採用
  - －外国人人材の育成・定着に向けた取り組み（受け入れ職場の環境整備、きめ細やかな人事制度面での対応、グローバルに企業理念や経営理念を共有等）

### (3) 大学に求められる取り組み

- ① **リベラル・アーツ教育の拡充**
  - －幅広い視野や基礎的思考力を重視
- ② **大学教育の質の保証**
  - －大学の第三者評価の拡充、教育情報の自主的公開、きめ細かい学生支援
- ③ **国際化に向けた取り組み**
  - －海外から優秀な留学生の受入れ拡大（英語で履修可能なカリキュラムの構築、外国人教員の採用拡大、9月入学実施等）
  - －海外大学との連携の強化（多彩な交換留学プログラムの提供）
- ④ **世界のリーダーとなる高度人材の育成に向けた取り組み**
  - －成長分野等で世界を牽引するリーダーとなる高度人材の育成（「リーディング大学院構想」、「グローバルCOE」への積極的対応等）

### (4) 政府に求められる取り組み

- ① **大学進学者の学力保証に向けた取り組み**
  - －高大接続テストの導入検討等
- ② **国公私立大学間の再編、統合および連携**
  - －各大学の適正な教育研究環境の確保、経営基盤の強化、資源の有効活用等
- ③ **双方向の学生交流の推進と、国際戦略の策定**
  - －「いわゆる30万人計画」（30万人の外国人留学生の受入れ、及び同数の日本人学生等の海外派遣）の2020年の目標達成に向けた国際戦略の策定
- ④ **東日本大震災後の状況への対応**
  - －被災地周辺を中心に、わが国大学で学ぶ留学生、研究者が風評被害で減少しないよう、情報発信を強化
  - －被災地の大学が、地域の復興拠点として研究活動やプロジェクト実践を行えるよう支援

## 終わりに

- グローバル・ビジネスの現場で活躍し、国際社会に貢献できる人材をオール・ジャパンで育成
- 経団連は、大学をはじめとする教育機関と連携して、具体的なプロジェクトを推進

以上

（注1）英国等で実施されているGap Yearでは、学生が視野を広げ多様な経験を積むため、高校を卒業して大学に入学するまで、もしくは大学卒業後の一定期間（通常1年間）、国内外でボランティア活動やアルバイトをして過ごす